



リダイレクトモードを使用する Cisco Unified SIP SRST 機能の設定



(注) この章は、バージョン 3.0 にのみ適用されます。

この章では、リダイレクトモードを使用する Cisco Unified Session Initiation Protocol (SIP) Survivable Remote Site Telephony (SRST) 機能について説明します。

目次

- [リダイレクトモードを使用する Cisco Unified SIP SRST 機能の前提条件 \(A-1 ページ\)](#)
- [リダイレクトモードを使用する Cisco Unified SIP SRST 機能の制約事項 \(A-1 ページ\)](#)
- [リダイレクトモードを使用する Cisco Unified SIP SRST 機能に関する情報 \(A-2 ページ\)](#)
- [リダイレクトモードを使用する Cisco Unified SIP SRST 機能の設定方法 \(A-2 ページ\)](#)
- [リダイレクトモードを使用する Cisco Unified SIP SRST 機能の設定例 \(A-6 ページ\)](#)
- [次の作業 \(A-8 ページ\)](#)

リダイレクトモードを使用する Cisco Unified SIP SRST 機能の前提条件

[「Cisco Unified SRST 機能の概要」セクション \(1-1 ページ\)](#) の [「Cisco Unified SIP SRST を設定するための前提条件」セクション \(1-9 ページ\)](#) に記載された前提条件をすべて満たしてください。

リダイレクトモードを使用する Cisco Unified SIP SRST 機能の制約事項

[「Cisco Unified SRST 機能の概要」セクション \(1-1 ページ\)](#) の [「Cisco Unified SIP SRST の設定に関する制約事項」セクション \(1-10 ページ\)](#) に説明されている制約事項を参照してください。

リダイレクトモードを使用する Cisco Unified SIP SRST 機能に関する情報

Cisco Unified SIP SRST は、基本レジストラ サービスとリダイレクト サービスを提供することで、外部 SIP プロキシ サーバへのバックアップを行います。これらのサービスは、WAN 接続が停止して SIP IP Phone がプライマリ SIP プロキシと通信できなくなった場合に、その SIP IP Phone によって使用されます。また、Cisco Unified SIP SRST デバイスは、PSTN コールを発信および受信するための PSTN ゲートウェイ アクセスも提供します。

Cisco Unified SIP SRST サービスを最大限活用するためには、ローカル SIP IP Phone がプライマリ SIP プロキシまたはレジストラと Cisco Unified SIP SRST バックアップ レジストラの両方へのデュアル(同時)登録をサポートしている必要があります。Cisco Unified SIP SRST は、次のタイプのコールを処理します。

- 主要なプロキシが使用できない場合、ローカル SIP IP Phone からローカル SIP 電話への発信。
- ローカル SIP IP Phone から発信 PSTN への制限クラス(COR)などの追加サービス。たとえば、発信番号 1 ~ 900 をブロックします。

リダイレクトモードを使用する Cisco Unified SIP SRST 機能の設定方法

ここでは、次の手順について説明します。

- [Cisco Unified SIP SRST 対応の SIP IP Phone 間のコールをサポートするためのコールリダイレクト拡張機能の設定\(A-2 ページ\)](#) (必須)
- [300 Multiple Choice 送信のサポートの設定\(A-5 ページ\)](#) (必須)

Cisco Unified SIP SRST 対応の SIP IP Phone 間のコールをサポートするためのコールリダイレクト拡張機能の設定

コールリダイレクト拡張機能は、Cisco IOS 音声ゲートウェイを経由するローカル SIP 電話から別のローカル SIP 電話へのコールをサポートします。この拡張の前は、SIP 電話は、SIP プロキシまたはリダイレクトサーバであるかのように Cisco IOS 音声ゲートウェイを使用して別のローカル SIP 電話への接続を試みて、失敗していました。今では、Cisco IOS 音声ゲートウェイは SIP リダイレクトサーバとして動作できます。音声ゲートウェイは発信者に SIP リダイレクトメッセージで応答するため、コールを発信した SIP 電話は、その接続先へのコールを確立できます。

redirect ip2ip (音声サービス) および **redirect ip2ip** (ダイアルピア) コマンドを使用すると、SIP 機能をグローバルに、または特定の着信ダイアルピアに対して有効にできます。Cisco Unified SIP SRST のデフォルトのアプリケーションは、IP-IP リダイレクションをサポートしています。

- [コールをグローバルにサポートするためのコールリダイレクト拡張機能の設定\(A-3 ページ\)](#)
- [特定の VoIP ダイアルピアでコールをサポートするためのコールリダイレクト拡張機能の設定\(A-4 ページ\)](#)

コールをグローバルにサポートするためのコールリダイレクト拡張機能の設定

すべての VoIP ダイアルピアのグローバル IP-IP コールリダイレクションを有効にするには、音声サービス コンフィギュレーション モードを使用します。



(注)

ダイアルピア コンフィギュレーション モードで IP-IP リダイレクションが設定されている場合、特定のダイアルピアでの設定が、音声サービス コンフィギュレーション モードで入力されたグローバル設定よりも優先されます。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice service voip**
4. **redirect ip2ip**
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
手順 1	enable 例: Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
手順 2	configure terminal 例: Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
手順 3	voice service voip 例: Router(config)# voice service voip	音声サービス コンフィギュレーション モードを開始します。
手順 4	redirect ip2ip 例: Router(config-voi-srv)# redirect ip2ip	Cisco IOS 音声ゲートウェイを使用して、ゲートウェイ上で SIP 電話コールを SIP 電話コールにグローバルにリダイレクトします。
手順 5	end 例: Router(config-voi-srv)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

特定の VoIP ダイアル ピアでコールをサポートするためのコールリダイレクト拡張機能の設定

特定の VoIP ダイアル ピアの IP-IP コールリダイレクションを有効にするには、ダイアルピア コンフィギュレーション モードで着信ダイアル ピアに IP-IP コールリダイレクションを設定します。Cisco Unified SIP SRST のデフォルトのアプリケーションは、IP-IP リダイレクションをサポートしています。



(注) ダイアルピア コンフィギュレーション モードで IP-IP リダイレクションが設定されている場合、特定のダイアル ピアでの設定が、音声サービス コンフィギュレーション モードで入力されたグローバル設定よりも優先されます。

制約事項

redirect ip2ip コマンドは、ゲートウェイの着信ダイアル ピアに設定する必要があります。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **dial-peer voice tag voip**
4. **application application-name**
5. **redirect ip2ip**
6. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
手順 1	enable 例: Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
手順 2	configure terminal 例: Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
手順 3	dial-peer voice tag voip 例: Router(config)# dial-peer voice 25 voip	ダイアルピア コンフィギュレーション モードを開始します。 • tag : ダイアル ピアを一意に特定する番号(この番号はローカルでのみ有意義です)。 • VoIP : これが POTS ネットワーク上で音声カプセル化を使用する VoIP ピアであることを示します。リダイレクトを設定するために使用されます。

	コマンドまたはアクション	目的
手順 4	<pre>application application-name</pre> <p>例: Router(config-dial-peer)# application session</p>	<p>ダイヤル ピアで特定のアプリケーションを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> SIP の場合、デフォルトの Tool Command Language (TCL) アプリケーション (Cisco IOS イメージから) は session であり、VoIP ダイヤル ピアと POTS ダイヤル ピアの両方に適用できます。 アプリケーションは、IP-IP リダイレクションをサポートしている必要があります。
手順 5	<pre>redirect ip2ip</pre> <p>例: Router(config-dial-peer)# redirect ip2ip</p>	<p>Cisco IOS 音声ゲートウェイを使用して、特定の VoIP ダイヤル ピアで SIP 電話コールを SIP 電話コールにリダイレクトします。</p>
手順 6	<pre>end</pre> <p>例: Router(config-dial-peer)# end</p>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

300 Multiple Choice 送信のサポートの設定

Cisco IOS リリース 12.2(15)ZJ より前では、コールがリダイレクトされた場合、SIP ゲートウェイは 302 Moved Temporarily メッセージを送信していました。ゲートウェイで最初に最長一致したルート (ダイヤルピア接続先パターン) が 302 メッセージの **Contact** ヘッダーで使用されました。リリース 12.2(15)ZJ では、リダイレクトされる番号に対して接続先への複数のルートが存在する場合 (複数のダイヤルピアが一致する場合)、SIP ゲートウェイは 300 Multiple Choice メッセージを送信し、Contact ヘッダー内に複数のルートが一覧表示されます。

次の設定では、Contact ヘッダー内に表示されるルートの順序をユーザが選択できます。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice service voip**
4. **sip**
5. **redirect contact order [best-match | longest-match]**
6. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
手順 1	<code>enable</code> 例: Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
手順 2	<code>configure terminal</code> 例: Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
手順 3	<code>voice service voip</code> 例: Router(config)# voice service voip	音声サービス コンフィギュレーション モードを開始します。
手順 4	<code>sip</code> 例: Router(config-voi-srv)# sip	SIP コンフィギュレーション モードを開始します。
手順 5	<code>redirect contact order [best-match longest-match]</code> 例: Router(conf-serv-sip)# redirect contact order best-match	300 Multiple Choice メッセージ内のコンタクトの順序を設定します。キーワードは次のように定義されます。 • best-match : (任意) 現在のシステム設定を使用してコンタクトの順序を設定します。 • longest-match : (任意) 接続先パターンの最長一致を最初に使用し、次に 2 番目の最長一致、次に 3 番目の最長一致というようにコンタクトの順序を設定します。これがデフォルトです。
手順 6	<code>end</code> 例: Router(config-serv-sip)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

リダイレクトモードを使用する Cisco Unified SIP SRST 機能の設定例

ここでは、次の設定例について説明します。

- [Cisco Unified SIP SRST: 例 \(A-7 ページ\)](#)

Cisco Unified SIP SRST: 例

ここでは、前のセクションの設定作業に対応する設定例を示します。

```
!  
! Sets up the registrar server and enables IP-to-IP redirection and 300  
! Multiple Choice support.  
!  
voice service voip  
  redirect ip2ip  
  sip  
    registrar server expires max 600 min 60  
    redirect contact order best-match  
!  
! Configures the voice-class codec with G.711uLaw and G729 codecs. The codecs are  
! applied to the voice register pools.  
!  
voice class codec 1  
  codec preference 1 g711ulaw  
  codec preference 2 g729br8  
!  
! The voice register pools define various pools that are used to match  
! incoming REGISTER requests and create corresponding dial peers.  
!  
voice register pool 1  
  id mac 0030.94C2.A22A  
  preference 5  
  cor incoming call91 1 91011  
  translate-outgoing called 1  
  proxy 10.2.161.187 preference 1 monitor probe icmp-ping  
  alias 1 94... to 91011 preference 8  
  voice-class codec 1  
!  
voice register pool 2  
  id ip 192.168.0.3 mask 255.255.255.255  
  preference 5  
  cor outgoing call95 1 91021  
  proxy 10.2.161.187 preference 1  
  voice-class codec 1  
!  
voice register pool 3  
  id network 10.2.161.0 mask 255.255.255.0  
  number 1 95... preference 1  
  preference 5  
  cor incoming call95 1 95011  
  cor outgoing call95 1 95011  
  proxy 10.2.161.187 preference 1 monitor probe icmp-ping  
  max registrations 5  
  voice-class codec 1  
!  
voice register pool 4  
  id network 10.2.161.0 mask 255.255.255.0  
  number 1 94... preference 1  
  preference 5  
  cor incoming everywhere default  
  cor outgoing everywhere default  
  proxy 10.2.161.187 preference 1  
  max registrations 2  
  voice-class codec 1  
!  
! Configures translation rules to be applied in the voice register pools.  
!  
translation-rule 1
```

```
Rule 0 94 91
!
! Sets up proxy monitoring.
!
call fallback active
!
dial-peer cor custom
  name 95
  name 94
  name 91
!
! Configures COR values to be applied to the voice register pool.
!
dial-peer cor list call95
  member 95
!
dial-peer cor list call94
  member 94
!
dial-peer cor list call91
  member 91
!
dial-peer cor list everywhere
  member 95
  member 94
  member 91
!
! Configures a voice port and a POTS dial peer for calls to and from the PSTN endpoints.
voice-port 1/0/0
!
dial-peer voice 91500 pots
  corlist incoming call91
  corlist outgoing call91
  destination-pattern 91500
  port 1/0/0
!
```

次の作業

詳細については、「[Cisco Unified SRST 機能の概要](#)」セクション(1-1 ページ)の章の「[その他の関連資料](#)」セクション(1-28 ページ)を参照してください。